



学校給食

食育を推進しましょう!

市では、3か所の給食センターと墨俣小学校で、毎日、約15,000食の給食を作っています。

給食は、毎朝届く野菜や肉などの検品に始まり、食材の下処理、揚げ物や焼き物、釜での調理、クラスごとの配缶等を終え、各学校へ配送します。

野菜は流水で3回洗い、汚れが十分に落ちるように気をつけています。また、食中毒を防ぐため、料理は全て加熱調理し、温度を記録する等、安心安全な給食を心がけています。

<作業工程>



家庭で作ってみよう! ~鮭の香り焼き~



【材料:4人分】

- 生鮭切り身…4切
- しょうゆ…小さじ2 ●にんにく…小さじ1/2
- 酒…小さじ1 (すりおろし)
- 生姜汁…小さじ1/2 ●ごま油…小さじ2/3

【作り方】

- ①Aの下味を作る。
- ②生鮭をAに10分浸けて下味をつける。
- ③グリルでほどよく、焼き色がつくまで焼く。



子どもと一緒に手軽にできるメニューです。季節に合わせて、鰯や鰆等、旬の魚を使用しても美味しくできます。
大切な家族のコミュニケーションや団らんを通じ、命の大切さを学び、食への感謝の気持ちを育てましょう。

<保護者の皆様へ>

学校給食は、保護者の皆様から納めていただく給食費で支えられており、子どもたちの給食の食材を購入する唯一の財源です。適切な給食費の納入について、ご理解とご協力をお願いします。

大垣市教育委員会

〒503-0888 大垣市丸の内2丁目55
TEL(0584)47-8022(直通) FAX (0584)82-6385
Email : kyouikusyomuka@city.ogaki.lg.jp

みんなで築こう人権の世紀
～考え方相手の気持ち
育てよう思いやりの心～

ふれあい 学びあい 深めあう 文教のまち大垣

大垣市教育委員会だより

発行
平成28年
2月

はぐくみ

vol.2



教育委員学校訪問

学校での子どもの様子や教員の指導方法など、学校の現状を理解するため、定例教育委員会に合わせ、教育委員が学校を訪問しました。

赤坂中学校訪問

赤坂中学校では、生徒会と意見交換会を行いました。生徒会役員は、自分達の活動を熱心に委員に伝えました。

<委員の感想>

- 地域の清掃活動や世界の子どもにワクチンを送る活動である「絆プロジェクト」は、みんなで力を合わせればどんなことでもできるという赤坂中学校の団結を感じました。
- 「赤坂中人権宣言」は、友達と心を通い合わせることの大切さや、お互いのよさを認め合う上で切磋琢磨する姿、仲間意識の醸成といった学校生活だけではなく、社会生活で大切なことを自らの考えで実践していると感じました。
- スマートフォンの利用ルールを生徒自らが決め、実行する姿はとてもすばらしく、現代のネット社会に生きる大人にとっても大切だと感心しました。
- 自分と周りの友達、地域、そして世界にとって大切なことを考え、コツコツと実行している姿がまさに「英姿颯爽」のスローガン通りでした。



安井小学校留守家庭児童教室訪問

留守家庭児童教室は、保護者が安心して働ける環境づくりを目的に、家庭に代わる生活の場として、開設しています。

今回、留守家庭児童教室の現状を把握するため、安井小学校を訪問しました。

<委員の感想>

- 仲間とのコミュニケーションを通した遊びや、体を動かす遊び、ルールや規律がある中で活動する取組みがあり、ただ預かる留守家庭児童教室ではないことを認識できました。
- 女性の働く機会が増えるとともに、留守家庭児童教室のニーズが増えているので、今後も力をいれていくってほしいと思います。
- 指導員の方々がお母さんのような雰囲気で、子どもと同じ目線で座り、話をするなど、子どもに接する姿に温かみを感じました。
- 放課後、勉強する時間は30分ということでしたが、学習時間が増える中学年以上の勉強時間は1時間程度にするなど、子どもが勉強をする環境を作ることも大切だと思いました。





文化 芭蕉と先賢に学ぶ 小学校奥の細道むすびの地記念館見学事業

「俳句って、意外におもしろいね。」

奥の細道むすびの地記念館を見学した、多くの6年生の児童の感想です。

大垣市では、市内全ての6年生を対象に、奥の細道むすびの地記念館の見学を実施しています。記念館には、松尾芭蕉の『奥の細道』をジオラマや映像などで紹介した「芭蕉館」、「文教のまち大垣」の礎を築いた大垣藩主戸田公や幕末に活躍した5人の先賢の偉業を紹介した「先賢館」があります。6年生の児童は、子ども図録ノートなどを使い、クイズなどに答えながら楽しく見学しています。

また、四季折々の姿が見られる船町川湊を散策しながら、俳句手帳を片手に俳句づくりも行ってい



ます。目の前の川湊の景色を見たまま俳句に詠み、季語を合わせる「取り合わせ」の技法を伝えると、子どもたちは、どんどん俳句を作り始めます。

「秋の空ひとみが光る芭蕉像」

「葉桜や枝と枝とがハイタッチ」

俳句づくりを、以前は難しいと感じていた子どもたちが、指を折り、5・7・5を唱えながら、20分ほどの間に10句以上作ります。友達や先生に自慢気に俳句を見せるその顔は、笑顔でいっぱいです。

「俳句の種」は、授業や休み時間、給食や掃除、家庭の中など、身近な生活のどこにでもあります。難しく考えず、どんどん俳句づくりにチャレンジしてください。



講演 第32回大垣市明るい青少年都市市民会議大会 講演

子どもたちを取り巻くネット環境

～Twitter、LINE、スマートフォンの危険性～
～最新事例とその対処法～

講師：全国webカウンセリング協会 理事長 安川 雅史 氏

日時 / 平成28年3月6日(日)13:30～16:00
(うち講演14:35～15:55予定)

場所 / スイトピアセンター音楽堂(学習館2階)



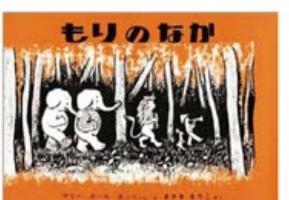
図書館

『ちょっと本が読みたい…』『調べものがしたい…』
そんなときは、図書館に立ち寄ってはいかがでしょうか?

【図書館司書のおすすめ本】

読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにします。そんな本に出会ってほしいため、図書館司書のおすすめ本を紹介します。

【就学前児童】



タイトル:もりのなか
著 者:マリー・ホール・エツツ
出版 社:福音館書店
●仲間やお連れさんがどんどん増えてくるお話も、子どもの絵本では定番。親子で森の中へでかけてみませんか?

【小学校低学年～中学年】



タイトル:あおい玉あかい玉
しろい玉
著 者:稻田和子
出版 社:童話館出版
●山でまいごになったお寺のこぞうは、おばばに食べられそうになります。こぞうを助けるために、お尚さんはどうしたでしょう?

【小学校高学年～中学生】



タイトル:モモ
著 者:ミヒヤエル・エンデ
出版 社:岩波少年文庫
●黙って話を聞くだけで人の心を溶かし悩みを解消させる能力がある不思議な少女モモ。彼女のまわりにはいつもたくさんの人たちが集まっていました。あなたもモモの世界に入ってみませんか?

もうすぐ春休み!

素敵な本との出会いを求めて、図書館を訪れてみませんか?

【お問い合わせ先】

大垣市立図書館 TEL 78-2622
上石津図書館 TEL 45-3118
墨俣図書館 TEL 62-3900

